



お部屋も心もスッキリ！

大切にしていたお洋服を、ゴミにして捨てるのは心が痛みます。「古着deワクチン」は、お部屋が片づいてスッキリするのはもちろん、障がいがある人などのために役立てられ、心もスッキリします。

#古着deワクチンで検索すると、この仕組みに賛同する人たちの声がいっぱいです



あなたのお洋服が 世界の人々を救っています

カンボジアの直営センターで 衣類等の販売、再輸出を行う

カンボジアにはお送りいただいた衣類等を選別、販売する直営センターがあります。ここでも、障がいのある方やかつてストリートチルドレンだった若者たちを採用。支援される側だった人たちが人を支援できる力を持てるようにサポート。人の役に立つ仕事ができることが働く喜びになっています。



1商品
売れると
1ワクチン
を寄付

ポリン



ポリオの後遺症により、右足は足の付け根から極端に細く、筋肉委縮状態。差別に耐えていた日々を抜け出し、人生最大のチャンスをもたらえた！
祖母と暮らしていた子ども時代は生活が苦しく、海で釣った魚や森で採った蜂の巣を売って、家計を助けていました。生母が他界し、父の再婚相手の継母から「障がい者はゴミだ」と言われ、出生証明書を破られるなど差別を受けました。この会社に入ったことが、自分の人生最大のチャンス。恥ずかしがり屋でまだ自信はありませんが、接客だけでなく色々なタスクにチャレンジをしていきたいです。

ペックデイ



先天性四肢障がいにより、両足指先は形ができていないまま、両手の指は4本しかない。障がいを抱える人たちに、自分を見て希望を持ってほしい！
障がいによる人との違いに落ち込み、自分が家族の重い負担になっていると感じて、何度も自殺を考えました。「仁義」で仕事をするチャンスをもたらえて、お客さまから差別されず、見下されることもなく、毎日がとても楽しいです。周りの人の温かさで、恥ずかしがり屋も克服できて、独りぼっちでいることもなくなりました。今は大学2年生で、学費も自分で稼いでいます。卒業してからもここでずっと働きたいです！



公式
インスタ
グラム



NRS.STAFFDIARY

古着deワクチンスタッフ日記

https://www.instagram.com/nrs_staffdiary/

【古着deワクチン】を運営する日本やカンボジアのスタッフの日常を毎日ご紹介しています。是非ご覧ください！

